

などを利用し、次のように出荷額を算定する。

- ㊤ 生産額に製品在庫による調整を行って出荷額ベースにするもの。
- ㊦ 収穫高×単価で生産額を求め、在庫調整により出荷額ベースにするもの。
- ㊧ その他の方法によるもの。

ロ 林業

原則として、「昭和45年産業連関表 計数編(Ⅰ)」及び「昭和45年産業連関表 生産額推計資料(林業部門)」により、出荷額を直接求める。中間年次については、生産量(林業生産統計年報)と卸売物価指数とから求める。

狩猟業は、基準年次は「Ⅰ-0表」からとり、中間年次については「鳥獣関係統計」(環境庁)により、種別に捕獲数を求め、単価(農林省業務資料)を乗じて求める。単価不明の場合は、頭数と物価指数とから求める。

ハ 水産業

原則として、「漁業養殖業生産統計年報」により、魚種別生産額を求める。

観賞魚については、基準年次は「Ⅰ-0表」より、中間年次は農林省業務資料による。

ニ 鉱業

原則として、「本邦鉱業の趨勢」により、品目別出荷額を求める。

出荷額 = (生産量 - 在庫純増) × 単価

(なお、単価 = 生産額 ÷ 生産量)

砂利については、基準年次は、「Ⅰ-0表計数編(Ⅰ)」により、中

間年次はセメント消費量の伸び率に比例させる。

石材(含碎石)については、基準年次は「Ⅰ-0表」により、中間年次は、碎石生産数量(碎石業実態調査報告書-日本碎石協会)の伸び率に比例させる。

② 製造業

原則として「工業統計表品目編」の出荷額をそのまま用いるが、別表5-1に掲げる60品目については、別途方を講ずる。

また、中間年次については、通産省より別添手続き(付5-1)によって、工業センサス・テープを入手し、それを別添函5-1の順序でコンバートしてsummary tapeを作成し、推計の基礎とする。

(注)別表5-1に掲げる60品目のうち

(Ⅰ) 精製ラード、牛乳(農家自給)、漁家自家加工水産物、味噌(農家自給)、しゅう油(農家自給)、食用塩、コーヒー、煙草、ニトロセルロース、セルロイド生地(10品目については、工業統計表に該当品目がないので、コモ班ワークシートにより推計することとする。

(Ⅱ) 履物修理以下修理関係20項目については、同属品目群に対する修理費の割合を「Ⅰ-0」ベースで求め、それにコモ法コードベースにおける同属品目群の実額を乗じて求めることとする。(表5-5参照)

(Ⅲ) エチルアルコール、プラスチック発泡製品、自動車部品等22品目については、コモ法とセンサスとでコードの対応が1対1でない(表5-3参照)、表5-4に示すような分割比率を用いて推計することとする。

IV) 鉄鉄，粗鋼関係の8品目については，生産動態統計ベースで出荷額をおさえることとした。これは，表5-6からわかるように，出荷ふくらまし率上，特に問題があると思われるからである。（出荷額推計方法は表5-7に示す通りである。）

表5-1 製造品出荷額をとる際に工業センサステープから直接データの得られないもの

番 号	コードナンバー	品 目 名	出荷額算出方法
166	20123001	精製ラード	ワークシート参照
167	20200001	牛乳(農家自給)	〃
194	20403201	漁家自家加工水産物	〃
229	20912001	味噌(農家自給)	〃
230	20912002	しょう油(〃)	〃
246	20916001	食用塩	〃
251	20918004	コーヒー	〃
272	22000001	煙草	〃
902	31193001	ニトロセルロース	〃
903	31193002	セルロイド生地	〃
451	24109001	積物修理	修理関係総括表参照
581	26009001	家具 〃	〃
1343	35029001	金物 〃	〃
1364	36019001	原動機，ボイラー	〃
1389	36029001	工作，金属加工機械 〃	〃

番 号	コードナンバー	品 目 名	出荷額算出方法
1506	36039001	産業機械修理	修理関係総括表参照
1551	36049001	一般産業機械および装置 〃	〃
1561	36059001	事務用機械 〃	〃
1569	36069001	民生用機械 〃	〃
1636	37019001	重電機器 〃	〃
1670	37029001	民生用電気機器 〃	〃
1752	37039001	その他の電気機械 〃	〃
1786	38209001	鉄道車輛 〃	〃
1803	38400001	自動車 〃	〃
1822	38509001	二，三輪車，自転車 〃	〃
1835	38909001	その他の輸送機械 〃	〃
1872	39109001	精密機械 〃	〃
1902	39209001	光学器具 〃	〃
1911	39309001	時 計 〃	〃
2008	39909001	楽 器 〃	〃
265	21104001	エチルアルコールの一部	センサス263411
787	31129022	エチルアルコールの一部	センサス263411
844	31171007	プラスチック発泡製品の一部	センサス396611×0.139
845	31171008	その他のプラスチック発泡製品の一部	センサス396619×0.139
1956	39903014	プラスチック発泡製品の一部	センサス396611×0.861
1957	39903015	その他のプラスチック発泡製品の一部	センサス396619×0.861

番号	コードナンバー	品目名	出荷額算出方法
1791	38300005	特別用途車の一部(四輪)	センサス 361115 × 09976
1804	38501001	〃 (三輪)	センサス 361115 × 00024
1796	38300010	特別用途車ボデーの一部(四輪)	センサス 361214 × 09976
1806	38501003	〃 (三輪)	センサス 361214 × 00024
1798	38300012	自動車用内燃機関の部分品, 取付具, 付属品の一部(四輪)	センサス 361314 × 09190
1807	38501004	〃 (三輪)	センサス 361314 × 00022
1814	38502003	〃 (二輪)	センサス 361314 × 00788
1799	38300013	駆動伝達装置部品の一部(四輪)	センサス 361315 × 09976
1808	38501005	〃 (三輪)	センサス 361315 × 00024
1800	38300014	懸架, 制動装置の部品の一部(四輪)	センサス 361316 × 09976
1809	38501006	〃 (三輪)	センサス 361316 × 00024
1801	38300015	シャシー部品, 車体部品の一部(四輪)	センサス 361317 × 09976
1810	38501007	〃 (三輪)	センサス 361317 × 00024
1802	38300016	その他の自動車部品の一部(四輪)	センサス 361319 × 09190
1811	38501008	〃 (三輪)	センサス 361319 × 00022
1815	38502004	〃 (二輪)	センサス 361319 × 00788

番号	コードナンバー	品目名	出荷額算出方法
1110	34110001	高炉鉄(製鋼用鉄)	鉄鋼統計月報(生産量, 在庫量)及びセンサス(単価-出荷額÷出荷量)により出荷額を求める
1111	34110002	〃 (鋳物用鉄)	
1112	34110003	電気炉鉄(製鋼用鉄)	
1113	34110004	〃 (鋳物用鉄)	
1114	34110005	木炭高炉鉄, 小形高炉鉄, 再生炉鉄	
1115	34110006	厚鉄, 純鉄, ベースメタル	同上
1121	34140001	普通鋼粗鋼	
1122	34140002	特殊鋼粗鋼	

表5-2 製造品出荷額におけるコモ法コード = センサスコード コンバーターの問題点

対応コード

通し番号 164 ~ 2008

コモコード 20121001 ~ 39909001

うちセンサスに対応するコードのないもの(うち*印20品目は修理関係)

- ① ㍻ 166 20123001
- ② ㍻ 167 20200001
- ③ ㍻ 194 20403201
- ④ ㍻ 229 20912001
- ⑤ ㍻ 230 20912002
- ⑥ ㍻ 246 20916001

⑦	底	251	20918004
⑧	底	272	22000001
⑨	底	451	24109001 *
⑩	底	581	26009001 *
⑪	底	902	31193001
⑫	底	903	31193002
⑬	底	1343	35029001 *
⑭	底	1364	36019001 *
⑮	底	1389	36029001 *
⑯	底	1506	36039001 *
⑰	底	1551	36049001 *
⑱	底	1561	36059001 *
⑲	底	1569	36069001 *
⑳	底	1636	37019001 *
㉑	底	1670	37029001 *
㉒	底	1752	37039001 *
㉓	底	1786	38209001 *
㉔	底	1803	38400001 *
㉕	底	1822	38509001 *
㉖	底	1835	38909001 *
㉗	底	1872	39109001 *
㉘	底	1902	39209001 *
㉙	底	1911	39309001 *
㉚	底	2008	39909001 *

表5-3 センサスとのコードの対応が1対1でないもの

(コモ法)	(センサス)
21104001(エチルアルコールの一部)	263411(エチルアルコール)
31129022(")	
31171007(プラスチック発泡製品の一部)	396611(プラスチック発泡製品)
39903014(")	
31171008(その他のプラスチック発泡製品の一部)	396619(その他のプラスチック発泡製品)
39903015(")	
38300005(特別用途車の一部)	361115(特別用途車)
38501001(")	三輪車を含み全輪駆動車を除く
38300010(特別用途車ボデーの一部)	361214(特別用途車ボデー)
38501003(")	
38300012(自動車用内燃機関の部分品、取付具、付属品の一部)	361314(自動車用内燃機関の部分品、取付具、付属品)
38501004(")	
38502003(")	
38300013(駆動電導操縦装置部品の一部)	361315(駆動電導操縦装置部品)
38501005(")	二輪自動車を除く
38300014(懸架、制動装置の部分品の一部)	361316(懸架、制動装置部品)
38501006(")	二輪自動車を除く
38300015(シャシー部品、車体部品の一部)	361317(シャシー部品、車体部品)
38501007(")	二輪自動車を除く

(コモ法)

(センサス)

38300016 (その他の自動車部品の一部) 361319 (その他の自動車部品)

38501008 (")

38502004 (")

表5-4 分割比率等の必要な品目

②プラスチック発泡製品

(コモ法) 中間製品

(コード)

31171007 (プラスチック発泡製品の一部)

31171008 (その他のプラスチック発泡製品の一部)

最終製品

39903014 (プラスチック発泡製品の一部)

39903015 (その他のプラスチック発泡製品の一部)

分割比率 39903

1288102

869

⑥エチルアルコール

(コモ法コード)

21104001 (エチルアルコールの一部)

31129022 (")

21105001 (添加用アルコール)

③自動車部品等

(コード)

{ 四輪 (乗用車+バス+トラック) 38300001,

{ 三輪 (三輪トラック) 38501002

{ 四輪 (同上) 上) 38300002,

{ 三輪 (同上) 上) 38502001,

{ 二輪 (~125cc + 125cc ~) 38502001,

(センサス)

(45年実績(百万円))

396611 (プラスチック発泡製品) [軟質のもの] 64487

396619 (その他のプラスチック発泡製品) [その他] 24732

: 31171 (I-O表コード)

: 193565 (額)

: 13.1 (比率)

(センサスコード)

(45年実績)

263411 (エチルアルコール) 285

188511 (添加用アルコール) 20096

(45年実績)

(分割比率)

38300002, 38300003 2300147 0.9976 } 1.0
5511 0.0024

2300147 0.9190 } 1.0
5511 0.0022
38502002 197373 0.0788

表5-5 修理関係総括表

符号	通し番号	コモ法コード(コード名)	係数算法(J-Oコード)
A	451	24109001 (履物修理)	241090/241020(革製履物)
B	581	26009001 (家具修理)	260090/260011(木製家具, 寝具材) 260019(その他の木製家具) 260020(金属製家具)
C	1343	35029001 (金物修理)	350290/350210(家庭用金属家具) 350220(道具類)
D	1364	36019001 (原動機, ボイラー修理)	360190/360110(原動機, ボイラー)
E	1389	36029001 (工作, 金属加工機械修理)	360290/360210(工作機械) 360220(金属加工機械)
F	1506	36039001 (産業機械修理)	360390/360310(農業機械) 360320(鉱山, 土木建設機械) 360330(化学機械) 360340(繊維機械) 360351(食料品加工機械) 360352(製材木工機械) 360353(パルプ装置, 製紙機械) 360354(印刷, 製本, 紙加工機械) 360355(冷凍機, 温湿調整装置) 360356(娯楽用機器, その他) 360360(産業車輛)

係数(r)	実額算法(コモ法コード)	実額(百万円)
0.057715	241020(01~08) × r	6837.03
0.018661	260011(01~04) 260019(01~09) × r 260020(01~08)	18285.45
0.034047	350210(01~16) 350220(01~14) × r	11117.50
0.034423	360110(01~20) × r	27100.33
0.081634	360210(01~10) 360220(01~14) × r	65133.07
0.123206	360310(01~13) 360320(01~14) 360330(01~15) 360340(01~18) 360351(01~08) 360352(01~04) × r 360353(01~05) 360354(01~06) 360355(01~07) 360356(01~19) 360360(01~04)	340329.22

符号	通し番号	コキ法コード(コード名)	係数算出法(I-Oコード)
			/360370 (その他の機械)
G	1551	360490010 (一般産業機械および装置修理)	360490/360411 (ポンプおよび圧縮機) 360412 (運搬機械) 360413 (破碎、ま碎および選別機) 360419 (その他の一般産業機械および装置)
H	1561	36059001 (事務用機械修理)	360590/360510 (事務用機械)
I	1569	36069001 (民生用機械修理)	360690/360610 (ミシン) 360620 (冷蔵庫, 洗濯機)
J	1636	37019001 (重電機器修理)	370190/370110 (発電機器) 370120 (送配電機器) 370130 (電動機) 370140 (その他の産業用重電機器)
K	1670	37029001 (民生用電気機器修理)	370290/370221 (電気音響機器) 370222 (ラジオ, テレビ受信機) 370229 (その他の民生用電気機器)
L	1752	37039001 (その他の電気機械修理)	370390/370310 (その他の軽電機器) 370321 (電算機同付装置) 370322 (その他の電子応用装置) 370323 (電子管その他の電子機器部分品) 370330 (電気通信機械および関連機器) 370340 (電気計測器)

係数(r)	実績算出法(コキ法コード)	実績(百万円)
	360370 (01~05)	
0.094623	360411 (01~21) 360412 (01~10) 360413 (01~04) 360419 (01~09)	12491211
0.174540	360510 (01~09)	4821790
0.110564	360610 (01~05) 360620 (01~02)	3208213
0.065602	370110 (01~04) 370120 (01~15) 370130 (01~05) 370140 (01~12)	8544739
0.019460	370221 (01~08) 370222 (01~04) 370229 (01~13)	5261171
0.047871	370310 (01~15) 370321 (01~06) 370322 (01~08) 370323 (01~10) 370330 (01~26) 370340 (01~08)	13820559

符号	通し番号	コモ法コード(コード名)	係数算出法(1-0コード)
M	1786	38209001 (鉄道車輛修理)	382090/382010(鉄道車輛) / 382020(産業用車輛)
N	1803	38400001 (自動車修理)	384000/383000(自動車)
O	1822	38509001 (二・三輪車・自転車修理)	385090/385010(三輪車) / 385020(自動二輪車) / 385030(自転車,リヤカー)
P	1835	38909001 (その他の輸送機械修理)	389090/389010(その他の輸送機械)
Q	1872	39109001 (精密機械修理)	391090/391010(理化学機器) / 391020(度量衡器,計量器) / 391030(医療機械)
R	1902	39209001 (光学器具修理)	392090/392010(カメラ) / 392020(その他の光学機械)
S	1911	39309001 (時計修理)	393090/393010(時計)
T	2008	39909001 (楽器修理)	399090/399020(楽器)

係数(r)	実額算出法(コモ法コード)	実額(百万円)
1.222897	382010(01~10) 382020(01~02) } × r	174300.73
0.230083	383000(01~16) × r	1099134.79
0.053899	385010(01~08) 385020(01~04) 385030(01~06) } × r	21447.38
0.208578	389010(01~03) × r	17649.04
0.081054	391010(01~02) 391020(01~23) 391030(01~08) } × r	26653.72
0.017412	392010(01~04) 392020(01~21) } × r	5888.02
0.078220	393010(01~08) × r	15935.13
0.008236	399020(01~08) × r	1358.94

表 5-6 出荷ふくらし率上問題のあると思われる品目

(ふくらし率 3.00以上 0.50以下のもの)			
(通しナンバー)	(コード)		(ふくらし率)
① (153 / 158)	(19909001 / 9006)		3.8
② 164	20121001		3.36
③ (196 / 199)	(20501001 / 1004)		14.9
④ (316 / 321)	(23112001 / 2006)		3.09
⑤ (343 / 351)	(23130001 / 0009)		3.37
⑥ (363 / 378)	(23160001 / 0016)		3.03
⑦ (584 / 587)	(27112001 / 2004)		4.33
⑧ (957 / 973)	(31929001 / 9047)		0.37
⑨ (1110 / 1115)	(34110001 / 0006)		14.97
⑩ (1121 / 1122)	(34140001 / 0002)		21.61

(注)

ふくらし率3.00以上0.50以下のものは別表5-6の通りである。
本来、ふくらし率を設定し、コモ法計算にあたって、まず出荷額を

(品 目 名)

黒鉛、活性炭石、重晶石、石棉、滑石
 その他の非金属鉱物(輸出入)
 肉かん詰、びん詰
 精米、精米かす、精麦、精麦かす
 純人絹広幅織物、純人絹小幅織物、交織人絹織物、
 キュブラ長繊維織物、アセテート長繊維織物
 ナイロン・ビロン・アクリル・ポリエステル・その他の化学繊維紡績毛織物、
 ナイロン・ポリエステル・その他化繊長繊維織物、合織タイヤコード
 織物精練・漂白・染色・整理
 製紙サルファイトパルプ、製紙クラフトパルプ、碎木パルプ、その他のパルプ
 人工甘味剤、クレンザー、ワックス、香料、接着剤、試薬等
 高炉鉄(製鋼用鉄)、高炉鉄(鑄物用鉄)、電気炉鉄(製鋼用鉄)、
 電気炉鉄(鑄物用鉄)、木炭高炉鉄・小形高炉鉄・再生炉鉄、厚鉄、薄鉄・ベースメタル
 普通鋼粗鋼、特殊鋼粗鋼

I-O表ベースに合わせるようにした理由は、その後の計算過程において
 計数の比較を容易ならしめようとしたためである。(I-O表においては、

可能な限り各業種生産動態統計を基礎としているのに対し、コモ法においては、省力化等のために、基礎データを原則として工業センサスから得るようにした。このために生じた出荷額の差を、ふくらし率を乗ずることにより、一致させようとしたものである。）

別表5-6に掲げる品目のうち、鉄鉄、粗鋼関係のふくらし率が特に大きいのは、この業種においては、一貫生産メーカーの生産する比率が大きく、生産動態統計では、これら一貫メーカーによる中間生産物としての鉄鉄、粗鋼をも出荷額に計上しているのに対し、センサスでは鉄鉄専門事業所、粗鋼専門事業所による製品しか計上していないためである。

このため、これら品目について、ふくらし率を固定し、それを中間年次に適用すると、専門事業所対一貫メーカーの出荷比率が変化した場合、出荷額が実際と大幅に隔たることがある。また、これらは出荷額が大きく、在

表5-7 鉄鉄、粗鋼、出荷額推計方法（単位 トン、百万円）

	コモ法コード	センサスコード	品 目 名	生産量(トン) 45年計
a	34110001	311111	高炉鉄(製鋼用鉄)	65606550
b	34110002	311112	" (鋳物用鉄)	1932881
c	34110003	312111	電気炉鉄(製鋼用鉄)	129331
d	34110004	312112	" (鋳物用鉄)	104880
e	34110005	312211	木炭高炉鉄, 小形高炉鉄, 再生炉鉄	274838
f	34110006	312911	厚鉄, 純鉄, ベースメタル	90861
m	34140001	311113	普通鋼粗鋼	82070879
n	34140002	311142	特殊鋼粗鋼	11250638

(注) ① 生産量(トン)は「鉄鋼統計月報」、在庫(トン)は「鉄鋼統計年報」

② 在庫量は製鋼用鉄を a : c = 99.8 : 0.2
鋳物用鉄を b : d : e = 83.6 : 4.5 : 11.9 } に比例配分

庫等に対する影響も大きいと思われる。従って、この場合、例外的にコモ法においても出荷額を生産動態統計ベースで把握することとしたものである。

なお、この他にも別表にある通り、ふくらし率上問題のある品目が見られるが、これらについては中間年次の推計結果をみただけで検討することとしたい。

また、生産動態統計がテープ等の形で比較的容易に入手でき、機械化できるようにになった段階で、推計方法の再検討が必要になる。

(ふくらし率はコモ分類6桁でI-Oと比較算出しているが、6桁の内訳となる8桁でみた場合に、6桁分類で一律のふくらし率を使用することが問題となる品目がみられる。このような例はいくつかあり、その場合には、6桁内部でふくらし率を変更している。別表5-8参照。)

在庫量 (トン)	出荷量 (トン)		単 価 (百万円/トン) 45年	出荷額 (百万円) 45年計	6ケタ分類 への統合	I-O 出荷額 (百万円)	生産者 製品在庫 変動率			
	44年末	45年末								
606313	1012424	65200439	0.0190587026	1241331.8	1307089	1318951	0.6			
60254	90057	1903078	0.0246624329	46934.5						
1215	2029	128517	0.0327242258	4205.6						
3243	4848	103275	0.0360275719	3720.7						
8577	12819	270596	0.0217565332	5887.2						
3236	6825	87272	0.0573922261	5008.7						
748574	876425	81943028	0.0306262602	2509608.5				3439221	2438408	0.2
216204	222135	11244707	0.0826711375	929612.7						

- ③ 出荷量 - 生産量 - 在庫純増 (45年末 - 44年末)
- ④ 単価は「工業統計表」の出荷額 ÷ 出荷量により算出
- ⑤ 出荷額 = 出荷量 × 単価
- ⑥ 生産者製品在庫変動率 = 1 - (出荷量 / 生産量)